



緑肥・緑化の部屋 22

～環境保全の実践を目指して～

タキイ種苗(株) 営業部 緑化飼料課

Q

水田畦畔の草刈りが大変です、よい防草対策があれば教えてください。



←畦畔に美しく生える「ティフ・ブレア」。

A

このコーナーでも数回とりあげていますが、雑草抑制能力の高いグラウンドカバープランツ「ティフ・ブレア」を使い、雑草を抑える方法をおすすめします。

「ティフ・ブレア」はセンチピードグラスの優良改良種ですが、和名をムカデ（センチピード）シバといい、ランナーがムカデに似ていることに由来しています。

「ティフ・ブレア」はその旺盛な地上匍匐茎（ランナー）による被圧とアレロパシー効果によって雑草を押さえ込みます。

「ティフ・ブレア」の太いランナーが幾重にも交差(写真1、2)することで、飛来種子の着地を防止し、雑草を減少させていくのです。

さらに、「ティフ・ブレア」の葉や根から抽出されるアレロパシーも、雑草の生育を阻害する力を持っています。

また、「ティフ・ブレア」は雑草を抑えるだけでなく、強い根が地下深く入ることで土壌をしっかり保持してくれるほか、米の等級を下げる要因にもなっている斑点米カメムシの生息数を抑制する機能もあります。

「ティフ・ブレア」はタネ・張芝・シート・セル苗など現場状況や予算にあわせて施工方法を選択できます。

「ティフ・ブレア」の施工および管理方法、失敗事例

などの詳細はタキイのホームページ(<http://www.takii.co.jp>) 芝・緑化・緑肥コーナーやリーフレットを参考にしてください（施工前の準備や土壌条件、管理方法、気象条件等々により、雑草抑制状況には差があります）。

「ティフ・ブレア」は農地植生に適した付加価値の高いグラウンドカバープランツとして評価され、農水省の「農地水保全管理支払交付金事業」や「中山間地域等直接支払交付金事業」などにも利用されています。

また、最近では、農業農村整備情報総合センター（ARIC^{*}）の「民間技術情報データベース」にも登録され、より広範囲な普及と技術共有が図られています。



← 苗を植えてから45日後。



← 苗を植えてから74日後。

^{*}ARIC：農林水産大臣の認可を得て「社団法人 土地改良技術情報センター」として発足。その後、現在の名称で一般社団法人に移行。農業農村整備に関する官民の情報の流通を促進し、農業農村整備の推進に資する技術の普及、および農業農村整備の歴史的役割や効果に関する啓発を図ることにより、農業農村整備事業の円滑な施行の確保と発展に寄与する団体。

【ARICホームページ：www.aric.or.jp/】

【農業農村整備民間技術データベース：www.nn-techinfo.jp/】